

2025年日本国際博覧会入場券販売関連システムサービス提供業務委託
積算内訳表作成要領

見積に関する積算内訳表については、2025年日本国際博覧会入場券販売関連システムサービス提供業務委託仕様書（以下、「仕様書」）等を理解した上で以下に基づいて作成すること。

1. 共通事項

- （１）「導入・構築費用」および「サービス利用料」について、様式5の「①導入・構築費用シート」、「②サービス利用料シート」に記載すること。
- （２）費用は消費税抜き・込みについて該当箇所の指示に従い記載すること。

2. 積算内訳項目

（１）導入・構築費用

- ・以下の大項目に沿って中項目を可能な限り細分化の上記載し、年度毎の費用を記載すること。

（ア）設計・構築費用

（イ）付帯作業費用等

（ウ）インフラ環境費用

（エ）ソフトウェア費用

- ・（ウ）のインフラ環境費用については、使用するクラウド環境を明示すること。

（２）サービス利用料

- ・サービス利用料は、券種を問わず入場券1枚あたりの単価を設定し、入場券販売枚数に応じた従量制料金とすること。
- ・入場券1枚あたりのサービス利用料単価については、1枚から2,400万枚まで同一単価とすること。
 - ※2,400万枚は、あくまで評価時の基準とするものであり、販売枚数を約束するものではないことに留意すること。
 - ※2,400万枚販売時のサービス利用料総額(税込)は、契約時の予定価格を示すものではなく、あくまで2,400万枚販売した場合の金額であり、入場券販売枚数の増減により支払総額も増減することに留意すること。
- ・24,000,001枚以上販売した際の単価について、低減が図れるのであれば該当箇所に記載すること。
 - ※上記は価格点評価の対象とならないが、技術点評価の対象とする。
- ・サービス利用料については、チケットIDの管理ステータスが「販売済」となった時点で課金すること。
 - ※委託販売会社に販売した時点ではなく、エンドユーザに販売されチケットIDのステータスが「販売済」となった時点で課金とする。
- ・仕様書の「6-2.入場券販売公式Webサイト」、「6-3.入退場管理」、「6-4.予約管理」については、会期終了後の対応が可能な形を配慮しつつ、2025年10月31日までの利用とする前提で積算すること。
- ・ネットワーク費用積算に必要な起算点の住所情報は以下の通りとする。コロケーションラックにネットワーク機器および終端装置を設置する所までを作業責任範囲として費用に含めること。なお、ラック費用は不要とする。
住所：大阪市北区堂島3-1-59 テレパーク堂島第一ビル

（３）その他

- ・支払い条件については、「2025年日本国際博覧会入場券販売関連システムサービス提供業務委託仕様書」の「11-1.支払い方法」に記載の通りとする。